



謹啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止に伴う緊急事態宣言が解除され、外出自粛も解かれました。宣言の期間中、KCA 神奈川県サイクリング協会は、会員の皆さまそしてスタッフの安全を第一に事業・行事の実施について判断してまいりました。解除とはいえ、まだ油断はできません。これからも何卒皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。 謹白

『KCA 加藤会長代行から会員のみなさまへ新年のご挨拶』

令和最初の春を迎えご挨拶申し上げます。協会会員の皆さまには、日頃より神奈川県においてサイクリング普及、発展にご活躍されていることを心より感謝申し上げます。

サイクリングは身体を健康にするスポーツとしてはもちろんのこと、燃料を使用しないコンパクトシティに欠かせない移動手段でもあり、SDGs(持続可能な発展)の観点から今後も注目を集めるアクティビティであると考えます。

昨年 10 月 1 日より「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、神奈川県内の自転車保険の加入が義務化されることとなりました。これは県内サイクリストの皆さまのご尽力とご支持の賜物です。

しかし、保険があるからといって安全運転の普及啓発を緩めるものではありません、むしろ保険があるから生じる無謀な運転に目を光らせ、より一層の安全運転を訴え続ける必要があります。会員の皆さまにはサイクリストの模範として、今後も安全運転の普及啓発、地域発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、協会会員の皆さまが、譲り合いの精神を尊重し交通安全の基盤作りの一助となり、爽やかな自転車生活を送られることを心から折念いたしまして新春の挨拶といたします。



神奈川県議会議員 加藤 元弥
(自由民主党、横浜市西区)

『 チャレンジ神奈川2019 《 神奈川県の水道施設 》 保土ヶ谷区 水道記念館 』 2019.12.01

2019 年度は、横浜水道記念館と配水池・浄水場など 4 か所をサイクリングで巡る企画として進めてまいりました。当時、横浜の水は山梨県の道志川を水源としていたため、世界の船乗りたちに「赤道を超えても

腐らない水」と賞賛され、ヨコハマ港で美味しい水として調達されていたそうです。



【水道記念館正面広場 1】



【水道記念館正面広場 2】

第 3 弾は、2019 年 12 月 1 日 (日) に 保土ヶ谷区 水道記念館 (西谷浄水場:横浜市保土ヶ谷区川島町 522) をチェックポイントとして開催いたしました。

次頁に続く・・・

至る歴史を資料・映像展示等で紹介されており、当時の水に対する生活ぶりなども垣間見られて、大変有意義でありました。

当日、サイクリストの皆さんは、チェックイン時間帯の午前 10 時より午後 0 時までに、それぞれが自由なスタイルで 17 名の方々が参加され、記念館内の見学や施設内の広場で、ここまでのルートや個性的なシティサイクル・ハイブリッドバイクを打破したフレームや各部品、装備品の形状や色彩に変化を与え、ファ



【保土ヶ谷 水道記念館】

ッション性を高められたマイバイク(自転車)の苦勞話など、それぞれが自由に和気あいあいと語りあいました。



【当時の水に対する生活ぶり】

そうしているうちにも時刻は正午過ぎとなり、皆さん、それぞれ自由なルートを探索しながら家路へと向かったようでした…。では第 4 弾をお楽しみに!!

[記事担当: 本田]

『 2020 年 初詣サイクリング「国指定跡、称名寺」 』 2020.01.19

令和 2 年 KCA 最初の行事は、日本最古の武家(金沢)文庫と縁深い称名寺で開催、昨日のみぞれがウソのように無風で太陽の光が差し込むなか、参加者の皆さまは受付開始前に集まり始めました。すると一瞬にして境内がにぎやかになり、久しぶりの再会から思い思いに賀詞交換が始まり、金堂、北条実時像、釈迦堂、平橋を渡り散策を楽しんでいました。開始時刻 10 時 30 分には参加者 45 名が参集、日差しを浴びながら事務局の高桑理事の司会進行で始まりました。古屋代表理事からの新年挨拶では KCA の現状、今後の展望について話がありました。続いて加藤会長代行と浅田秘書官より新年の挨拶をいただきました。



【受付前にて】



【賀詞交換】

司会者より 2019 年度のビックランの講評後、加藤会長代行より優秀作品賞と完走者に表彰を行いました。参加した各加盟クラブと個人会員の代表者に今年の抱負などを発表していただきました。

星野代表理事代行より業務連絡、今後の方針説明、それらの改善策について報告がありました。企画担当浅見より 2020 年度ザ・ビックラン神奈川(かながわの花の名称 100 選より)、チャレンジ神奈川 KCA の花、女性会員様のコラボレーションを図りたく(かながわの花の名称 100 選より)を企画します。

次頁に続く・・・

多くの皆さまの参加をお願いいたしました。つづいて本日、称名寺の御朱印の申込者に手渡し後、平野副

代表理事から「今年も安全走行で行きましょう!!」との中締めで、散会となりました。



【2020年初詣サイクリング 集合写真】

[記事担当: 浅見]

『 2020年 研修会 第一部「1964年・五輪とその周辺」 第二部「サイクリング車のポジションと整備」 』 2020.02.02

来年の東京オリンピック開催記念に先駆けて1964年・東京五輪の自転車関係の話を上野の老舗自転車店である横尾双輪館のご主人、横尾明氏(85歳)の全面的な協力によりヴェロクラブトウキョウを立ち上げて作成した自転車競技写真集を中心に、他数名への取材や資料提供をしていただき星野にて行いました。関係各位へは、この場をお借りして御礼申し上げます。

今回は、パワーポイント資料も昨年の30枚から70枚以上となり、当時の文献から貿易自由化やフレーム材料、車種の転換期などエポックメイキングとなった五輪前後について、国内外の競技選手や機材のことも触れました。

2部として旅自転車に求められる機能要件や引率などの場面でサイクリング・リーダーに求められる走行技術や長時間走行での負担軽減をする整備法などについて話しました。

サイクリング用途のビンディング・ペダルについては、ヨコハマC.C.の大竹清さんにご協力をお願いしました。ありがとうございました。



【第二部 大竹講師】

「卒論発表会のような感じ。盛りだくさんの内容で聴き応えがありましたから、参加された人達も満足されたと思います。」 「あの資料は何かで残した方がいいと思いますよ!!」講師お疲れ様でした 大変楽しく歴史の勉強になりました」などの講評をいただきましたものの神奈川県サイクリング協会では、

次頁に続く・・・

来期より当分、研修(講習)会の実施は、未定とします。



【第一部 星野講師】



【研修会后、参加者の皆さんと記念写真】

以下は、研修会のことも含めて代表理事代行意見として記します。皆さまの要望を踏まえて今後の協会運営に反映させていきますので理事・会員のご支援をお願いいたします。

1. 研修会の過重負担と各種行事の参加意識について

10月10日の理事会議事録を読むと『来期の運営改訂に伴い、そちらに注力するので、研修会に時間を割けないのでは・・・』との意見もあったが、講師：星野で実施することになった。』とあります。興味の湧くテーマとは??? これだけでも簡単ではありません。

昨年の外部講師依頼では、残念なことに神奈川県サイクリング協会の参加者だけでは、講師謝礼に届きませんでした。(各行事は、その行事にて収支を見込む方針です。)

星野から要項(チラシ)をイベント会場で配り歩いたり自転車店舗に置いてもらうなど声掛けした結果、60人強になり収支も含めて形になりました。

協会内外どちらの講師が行っても課題山積みなことから研修会開催未定にご了解くだされば幸いです。

「楽しむ場を皆で支えてこそ」の思いを新たに、理事は、協会費で運営していることを意識した企画作りの努力を今後とも惜しまず、皆さまも多種多様な遊びと横並び(好み)で取捨選択するのを少し思い留まって、支援協力としての行事参画を検討してくだされば嬉しく思います。

2. 事業計画と更新案内の発送時期について

事業計画について、各加盟クラブから「2月初旬の

提示では、クラブの年間計画が立たずに困る。」との意見が届いています。恐らく各クラブとも年始新年会

兼ミーティングによるクラブ計画提示がなされているものと推察します。関東ブロック協議会やJCAだけではなく各外部組織との調整も絡んでくるため前倒しは、厳しい状況ですけれども考慮できるよう努力したいと思います。

更新案内もJCA賛助会員費や保険会社の絡みもあって2月初旬に郵送がやっとです。

事業計画などと分割郵送をすれば公費負担も増えますので、このような意味でもホームページ閲覧やメール送付に切り替えくださるようご検討をよろしく願います。

[記事担当: 星野]

『 編集後記 』

「KCA News No.114」をお届けします。

本号がKCA会員の皆さまのお手元に届くころには、厳しい寒さから解放され、いつの間にか穏やかな春も過ぎ去り新緑の候を迎えているのではと存じます。今年初めごろ中国本土を震源とした新型コロナウイルス・肺炎(COVID-19)が世界中に飛び火し、前例のない感染症のパンデミック状態となりグローバル的に感染拡大防止策がとられております。

日本国内においても2020年東京オリンピック・パラリンピックが2021年に延期されるなど、3月以降は感染者も拡大し緊急事態宣言が発令されました。こんな中で、外出自粛が強く言われ「マスクやネックゲーターがあるから大丈夫」ではなく「人との接触、混雑しているところには出掛けない」という社会情勢と社会的距離(SOCIAL DISTANCE)をとったうえで、移動の手段、日常の生活での運動として許される環境下ならば、ソロライドとして地域でのサイクリングを行うこと。くれぐれも医療機関にはご迷惑をかけないようサイクリストの皆さま方をお願いいたします。

本号の掲載は、『KCA 加藤会長代行から会員のみなさまへ新年のご挨拶』より、チャレンジ神奈川2019《神奈川県水道施設》保土ヶ谷区水道記念館、2020年初詣サイクリング「国指定跡、称名寺」および2020年研修会など、至らない点もあったかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございます。次号もあたたかく見守っていただけると嬉しく思います。広報部会では皆さんからの投稿もお待ちしております。info@kca-wab.com まで、どうぞよろしく願います。内容によっては修正をお願いしたり、掲載に至らない場合があります。 広報担当: 本田